

「足りないものは何か？を常に探しながら」



総合職
(事務)

Name **鷺北 博敬**【平成23年度採用】

1st stage 政策推進部 広報広聴課 H23.4.1~H25.3.31

市民に伝わるメッセージを届けます！

主にホームページを担当し、市の事業や制度などをお知らせしていました。ホームページの公開には、まず担当部署へ事業の内容をヒアリングし、伝えたいポイントをもとにラフデザインを作成します。それを基にデザイナーと打合せを繰り返しながらページを作成していきます。市民の皆さんは、日常多くの情報に触れていますので民間事業者のページなどを参考に、とにかく興味を持ってもらえるページデザインになるように心掛けていました。

Point

facebookやTwitterと連動させることで、市から速やかな情報提供が可能になりました。

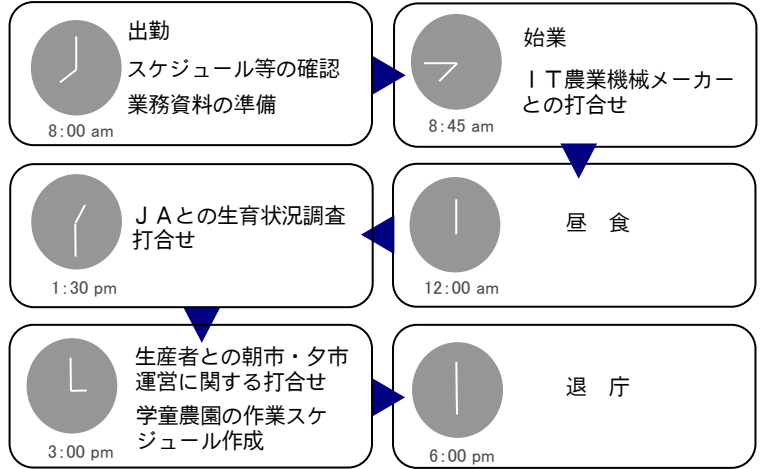


仕事の中で印象に残っていること

平成24年度のホームページリニューアルの際には、「見る」立場の利用者である市民のみならず、「掲載する」立場の利用者である担当部署にとって、情報を「早く、多く」、「見る・見せる」ことができるもの

農政課

作況調査や営農技術情報の発信のほか、担い手育成や農産・畜産振興などを通じて帯広市の農業をサポート！



2nd stage 農政部 農政課 H25.4.1~

日本有数の食料供給基地を支えます！

- 1 十勝・帯広の大規模な生産基盤を最大限に活用していくために、IT農業機械メーカーと連携して、先駆的な技術であるIT農業の推進に取り組んでいます。
- 2 朝市や夕市において、地元の生産者が取れたての野菜を持ち寄り販売しています。直売所の運営協力を通じて、生産者と消費者の交流や地産地消を推進しています。

Point

市民農園では、市民への貸付農園のほか、子どもたちの学童農園もあり、農業体験を提供する場となっています。



にするというコンセプトをもって、その仕組みづくりに腐心しました。リニューアル後はアクセス数や更新回数が大きく増え、目標としていた効果を生み出すことができたものと嬉しく思いました。



Message

常に課題を探し、チャレンジしていくことができれば、どんな仕事でもワクワクしてやりがいのある仕事になります。

「行政だから」という言葉で仕事をこなすのではなく、今まであった仕事に自分がどれだけ付加価値をつけられるか、という意識をもって、よりよい街づくりに一緒にチャレンジしていきましょう！

Holiday

子どもたちと札内川の河川敷をサイクリングしています。今後は十勝の雄大な自然に抱かれながらフライフィッシングをやりたいです。